

第4章 クラス概要

4.1 全体スケジュール

4.1.1 事前に設定したスケジュールについて

今回の実習では、設定された学習目標に沿って、チームごとにそれぞれの担当日の時間配分を決めた¹。初めの2週は各チーム実習生2名とティーチング・アシスタント1名の3名で²、最後の1週は各チーム実習生2名のみで授業を行った。実習生のみで授業を行った日は、時間配分も実習生のみで設定した。

以下に、事前に各チームで設定したそれぞれの日の時間配分と学習目標、特別活動を行った日についてはその発表テーマを記す。なお、実際の授業がどのような時間配分で行われたかについては、本章第2節以降で詳述する。

<全体スケジュール>

	時間ごとの担当者			学習目標	発表テーマ
	1限	2限	3限		
2/13 (月)	(オリエンテーション)	前30分:飯田か 後60分:入江	前30分:久野 後60分:入江	自己紹介・友達の紹介ができる	
2/14 (火)	筒井	川口	石黒	誘ったり、誘われたときに断ったりできる	
2/15 (水)	前45分:梶原 後45分:國澤	前30分:國澤 後60分:飯田り	國澤	アドバイスをしたり、アドバイスを求めたりすることができる	

¹ チームは実習指導教員である鷲見先生に編成していただき、各日の学習目標は実習生全体で設定した。

² ただし、第2週においても、特別活動を行った2月23日(木)3時限目及び24日(金)3時限目は実習生のみで授業を行った。

2/16 (木)	前 45 分:筒井 後 45 分:川口	前 45 分:筒井 後 45 分:川口	石黒	道を尋ねることができる	
2/17 (金)	田中	高橋	梁	図書館や旅行会社などで、手続きができる	
2/20 (月)	入江	前 45 分:入江 後 45 分:飯田か	前 15 分:入江 中 60 分:久野 後 15 分:入江	病院で自分の症状を説明して、医師の指示を理解することができる	
2/21 (火)	國澤	前 45 分:梶原 後 45 分:國澤	前 45 分:國澤 後 45 分:飯田り	不満を述べたり謝ったりすることができる	
2/22 (水)	前 30 分:田中 後 60 分:梁	高橋	田中	何かを依頼したり、お礼を述べたりすることができる	
2/23 (木)	前 45 分:飯田り 後 45 分:梶原	國澤	梶原、飯田	許可を求めることができる	家族について (3 限)
2/24 (金)	前 60 分:久野 後 30 分:飯田か	前 45 分:飯田か 後 45 分:入江	久野、飯田か	二つ以上のものを比較することができる	私のお気に入り (3 限)
2/27 (月)	飯田か	久野	前 30 分:久野 後 60 分:飯田か		10 年後の自分 (1 限)

2/28 (火)	前 45 分:川口 後 45 分:筒井	川口	筒井	電話でのやり取りができる	好きな日本語・嫌いな日本語(1限)
2/29 (水)	高橋	梁	高橋、梁	ビデオレターを用いてお礼を述べることができる	日本に来て驚いたこと(1限)
3/1 (木)	川口	筒井	(パーティー)	地震の際に適切に避難することができる	地震(1~2限)

※網掛け部分は、実習生のみ (TA なし) で授業を行った部分である。

※複数の名前が書かれているにもかかわらず時間配分が書かれていない欄は、複数名が共同で授業を行った部分である。

4.1.2 授業のビデオ撮影について

実習生が行った授業の様子は、ビデオカメラで撮影し記録した。実習で撮影したビデオは実習生自身で変換・保存の作業を行った。今回の実習では、動画形式の変換と DVD に焼くという作業に、思った以上に実習生の間で混乱が生じた。初めに一度、皆で手順を確認し合う時間を設ければよかったかもしれない。

ビデオカメラの取り扱いについては、資料 9「ビデオカメラとその映像データの取り扱いについて」を参照のこと。

(文責：川口)

4.2 通常クラス

以下、2/13 (月) から 2/29 (水)、合計 13 日間の通常クラスの授業報告である。

1日目 2月13日(月)	担当：飯田か、久野、入江(TA)
学習目標 ・自己紹介・友達の紹介ができる。	新出語彙 【名詞】

学習項目 ・N1はN2です。 ・(何・どんな・どこ等)～ですか。 ・～から来ました。	自己紹介、どこ、どちら、なに、名前、出身、所属、学部、研究科、趣味、スポーツ、野球、テニス、サッカー、水泳、バドミントン、サイクリング、バスケットボール、卓球、読書、映画、音楽、料理、旅行、専門、法学、心理学、工学、社会学、化学、教育学、言語学、文学、医学、～(年/か月)前、今年、去年、おとし、どのくらい 【動詞】 来る、呼ぶ 【その他】 はじめまして、よろしくお願いします
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

～分	テーマ	活動
【1限】 90分	オリエンテーション	オリエンテーション
【2限】 30分 (飯田か)	一人語りの自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のモデルの提示 出身・趣味の文型導入 「私は～です。」 「～と呼んでください。」 「～から来ました。」 / 「出身は～です。」 「趣味は～です。」「よろしくお願いします。」
60分 (入江)	一人語りの自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 【ペアワーク】⇒日本人も交えて、ペアで練習 所属・専門の文型導入 「所属は～です。」「専門は～です。」 【ペアワーク】⇒2つのグループに分かれて、その中でペアを交代して練習
	質問をする／質問に答える	<ul style="list-style-type: none"> 「いつ日本に来ましたか。」「日本に来てどれぐらいですか。」の文型導入 【ペアワーク】⇒学習者から日本人に質問
【3限】 30分 (久野)	質問をする／質問に答える	<ul style="list-style-type: none"> 2限の復習 名前、趣味、出身、所属、専門、いつ日本に来たか、日本に来てどれぐらいかの聞き方の確認 「(名前/趣味/専門)は何ですか。」 「(出身/所属)はどちらですか。」 「いつ日本に来ましたか。 / ～に日本に来ました。」 「日本に来てどのぐらいですか。 / 日本に来て～です。」 学習者に教師が質問して答え方の確認

		<ul style="list-style-type: none"> ・【ペアワーク】⇒ペアになって質問し、ワークシートに聞いたことを書く(ペアを交替し、4人分の情報を集める)
60分 (入江)	他者紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんの□□は△△です」の文型の導入 「〇〇さんの(出身/趣味/所属/専門)は～です。」 ・【発表】⇒前に出て、他者紹介をする ・【グループワーク】⇒学習者のペアに日本人が1人入り、学習者が日本人にもう1人の学習者について紹介する

反省	
<p>メリハリに欠けていた。何を伝えたいかをもっとはじめに具体的に示すべきだと反省した。NはNですだけにとらわれて、場面やどんなときに何を聞くか等を学習者へ問いかける、ということはしなかったなので、導入の部分を改善したいと思った。(飯田)まだペアの作業が終わっていないときに2人目に交替してもらってもいいのかとても迷った。実際、交替してくださいと言ってもまだ途中だと学習者も動きたくないようだった。また、書く作業を取り入れたことで繰り返し自己紹介をすることに少し変化が生じたが、書くことが目的になってしまったので、完全な文で質問していない人もいた。計画よりだいぶ日本人が少なかったなので、授業計画を変更しようか迷った。時間配分も、時間が余ってしまったので困り、次回への反省点だと思った。(久野)</p>	

2日目 2月14日(火)	担当：筒井、川口、石黒(TA)
学習目標 ・誘ったり誘いを断ったりすることができる。	新出語彙 【名詞】 かぜ、病気、お弁当、豚・鶏・牛肉、すし、すきやき、天ぷら、さしみ、スキー、ダンス、カラオケ、ギター、昼ご飯、靴、服、お酒、コーヒー、公園、プール、海 【イ・ナ形容詞】 ねむい、好き、きれい、忙しい、うるさい、こわい、気持ち悪い、はずかしい、へただ 【動詞】 食べる、撮る、散歩する、仕事する、泳ぐ、歌う、話す、掃除する、読む、飲む、見る、聞く、書く、買う、行く、休む、来る、帰る、買い物する、結婚する、招待する、パーティーする、入る、走る、遊ぶ、申し込む 【その他】 今週、来週、再来週、今日、明日、明後日、月～日曜日、1月～12月、今晚、今月、来月
学習項目 ・一緒に～ませんか。 ・一緒に～に行きませんか。 ・一緒にNをVに行きませんか。 ・今日、～ませんか。／今日は、ちょっと…。 ・Nは、ちょっと…。～んです。 ・～ない?／～よう。 ・ごめん。～は、ちょっと…。～んだ。	

～分	テーマ	活動
【1限】 40分 (筒井)	誘う ー承諾する	<ul style="list-style-type: none"> ・導入文型を用いて学習者を誘う。 《文型》 ・一緒に～ませんか。 ・一緒に～に行きませんか。 ・一緒にNをVに行きませんか。 《語彙》 ・食べる、パーティーなど、イラストを用いて名詞と動詞を取り扱った。 《練習》 ・文型を用いた会話練習
50分 (石黒)	趣味について復習、程度副詞をつけて頻度を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の復習（自己紹介） ・趣味について会話 ・程度副詞を用いて会話
【2限】 90分 (川口)	誘いを断る	<ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目の復習 《文型》 ・今日、～ませんか。／今日は、ちょっと…。 ・Nは、ちょっと…。～んです。 ・（時間）は、ちょっと…。～んです。 《語彙》 ・曜日、月などの時を表す用語を取り扱った。 ・形容詞を取り扱った。 《練習》 ・タスク：スケジュール表作り
【3限】 90分 (石黒)	意向形の活用を用いる ビンゴゲーム 異文化理解をする	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2限の補足説明 ・～ない？／～よう。 ・ごめん。～は、ちょっと…。～んだ。 ・意向形ビンゴゲーム ・バレンタインデーについて話をする。

反省

学習者は、今回の文型は、既に定着していた。しかし、教師側がしっかり学習者の

レベルを把握していなかったために文型中心の授業内容となった。そのため、学習者にとっては少々退屈な部分もあった。また、ある学習者から、「いつからレベルが上がりますか。」という質問を受けた。

授業内容が学習者のレベルにあったものではなかった結果だと思う。これは、終始教師側が予想していたレベルに設定した内容で、内容やレベルに変化がなかったためであると思う。教師側がもっと難易度をつけた練習を用意しておくべきだった。話すタスクをもっと増やすと良かったと思う。

学習目標が誘いと断りであったので、学習者同士が積極的に会話を広げていたのはよかったと思う。

3日目 2月15日(水)	担当：梶原、飯田り、國澤(TA)
学習目標 ・アドバイスを求めたり、アドバイスをしたりすることができる。	新出語彙 【名詞】 野菜、人混み、悩み、朝、ダイエット、隣、課題、おすすめ、食べ物、飲み物、お菓子、かつ丼、すし屋、客、注文、まぐろ、いか、えび、アボカド、カルピ、鯛、こはだ、おいしさ、歯ごたえ、人気、価格、美容院、カフェ、お店、パン屋、居酒屋、病院、歯医者、飲み会、卒業式、結婚、入院、財布、果物、バス、電車、新幹線、飛行機、家、薬、学校、暖房、お風呂 【イ・ナ形容詞】 うるさい、おいしい、いい、あたたかい、のどが痛い、上手だ 【動詞】 風邪をひく、着る、寝る、(マスクを)する、(タバコを)吸う、運動する、起きる、ほしい、(暖房を)つける、さがす、なくす 【その他】 たくさん
学習項目 ・Vたほうがいいですよ。／Vないほうがいいですよ。 ・Vたらどうですか。 ・疑問詞+Vたらいいですか。 ・おすすめのN ・何かAdj.+Nはありませんか。／どこかAdj.+Nを知りませんか。	

～分	テーマ	活動
【1限】 45分 (梶原)	アドバイスをする	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vたほうがいいですよ／Vないほうがいいですよ」導入。 ・た形・ない形の確認。 ・「Vたほうがいいですよ／Vないほうがいいですよ。一ですから。」、プリントでペア練習。

		<ul style="list-style-type: none"> ・タスク：クラスメートのカードに書いてある悩みに、アドバイスをする。
45分 (國澤)	アドバイスをする	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vたらどうですか」導入。 ・アドバイスをするときの談話の流れを確認。 ・談話でアドバイスを求める、もらう。
【2限】 30分 (國澤)	アドバイスを求める	<ul style="list-style-type: none"> ・1限目の復習。 ・「疑問詞+Vたらいいですか」導入。 ・「～んですが、どこで／何をVたらいいですか。」、「Vたらどうですか」／「Vてください」を使ったタスク。
60分 (飯田り)	アドバイスを求める	<ul style="list-style-type: none"> ・「何かAdj.+Nはありませんか」、「どこか「Adj.+Nを知りませんか」導入、口頭練習。 ・「おすすめのN」導入。 ・国（出身地）のおすすめを聞く活動。 ・ロールプレイ：すし屋でおすすめのものをきく。 ・習った文型を使って、クラスメートにきく。 例：「どこかいい美容院を知りませんか。」
【3限】 90分 (國澤)	アドバイスを求めたり、したりする	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2限目の復習・まとめ。 ・談話レベルでの練習。 ・自分の国についてアドバイスする。／他の国についてアドバイスをもらう。

反省

一通り日本語の初級文法を勉強し終わっている学習者のレベルを考えると、もっと多くの文型を導入しても良かったと思われる。いろいろな文型を導入し、場面にふさわしいものを選んで使うという活動があっても良かったかもしれない。また、アドバイスを求めたり、アドバイスをしたりする時の談話の流れをもう少し意識して教案を考えられると良かった。例えば、アドバイスを求めて終わるのではなく、アドバイスをもらった後の応答までカバーしたり、自分がアドバイスできない時に「〇〇さんに聞いたらどうですか。」と付け加えることを教えたりすれば、より良い授業になっていたであろう。

本実習プログラムを受講した学習者は、積極的且つ協力的な姿勢で授業に取り組んでくれたため、自分のことについて話す練習や活動を取り入れると盛り上がった。しかし、予想以上に時間がかかってしまうため、それも考慮して授業を組み立てる必要があることが分かった。

4日目 2月16日(木)	担当：筒井、川口、石黒(TA)
学習目標 ・道を尋ねることができる。	新出語彙 【名詞】 デパート、道路、銀行、スーパー、喫茶店、コンビニ、 学生寮、レストラン、図書館、駅、駐車場、花屋、 公衆トイレ、ベンチ、バス停、学校、本屋、地下鉄、 ポスト、郵便局、交番、信号、交差点、横断歩道 【動詞】 ～を～に曲がる、(階段を) 上る・降りる、～を越える、 渡る 【その他】 右、左、先、手前、～(の) 前、後ろ、向かい、となり、 裏、角、～と～の間、近く、道の右側・左側、向こう、 ずっと、まっすぐ、すぐ、～つ目
学習項目 ・道案内 ・～まで、どうやって行けばいいですか。 ・(どこに) ～があります。 ・Vと～があります。 ・VてVと～があります。	

～分	テーマ	活動
【1限】 68分 (筒井)	文型・語彙の 導入	◆文型 ・～はどこにありますか。 ・N1の～にN2があります。 ・～はどうやって行けばいいですか。 ◆語彙 ・店の名前、方向を表す語彙(前、向かい、裏等)など、 主に名詞を取り扱った。 ◆文型を用いた会話練習
18分 (川口)	文型・語彙の 導入2	◆文型 ・Vと～があります。 ・Vて、Vて、Vと～があります。 ◆語彙 ・道案内の際に用いる語彙(主に動詞)を取り扱った。
【2限】 5分 (川口)	タスク①	◆文系総合館内に貼ってある付箋を探すタスク ・学習者が2グループに分かれ、それぞれ教師の案内を口頭で聞いて、文系総合館内にあらかじめ貼っておいた付箋を探してくる。
45分 (筒井)	タスク②	◆インフォメーションギャップを用いるタスク ・学習者それぞれに情報の違う地図を用意し、自分の地図からわかる場所を説明したり、他の学習者に自分の地図からは分からない場所を聞いたりして、地図を完成させる。

30分 (川口)	タスク③	◆Google マップを用いるタスク ・Google マップを用い、ある地点からある地点への行き方を説明する。その後、Google ストリートビューを用い、その行き方が正しいかどうかを確認する。
10分 (石黒)	事前練習	◆3限のタスクに向けた事前練習 ・1限の復習を兼ねつつ、実際に外で道をどう尋ねればよいかを確認する。
【3限】 90分 (石黒)	タスク④	◆外でのタスク ・学習者が2グループに分かれ、それぞれのグループに教師が付き添いながら、外で実際に日本人に道を尋ねる。名大内の4か所(北部生協、野依記念館、カフェフォレスト、体育館)を回った。

反省

当初予定していたよりも、文型・語彙の導入の時間が大幅に長くなってしまった。予め、必ず教えなければならない場所・削ってもよい場所の双方を意識したうえで授業に臨み、どこかで時間の修正を行えると良かった。

このほか、今回の授業では、3時限目に行った外でのタスクにおいて道を尋ねることができるようになることを目標としていたが、2限目のタスクをその目標につなげるか、ということが曖昧なまま授業を組み立ててしまった。全体的に、目標に対する意識を教師側がもう少し持つことができると、学習者をより引き付けることができたように思う。

5日目 2月17日(金)	担当 : 梁、高橋、田中(TA)
学習目標 手続きをすることができる。	新出語彙 【名詞】 ロッカー、個人、団体、申請、管理人、時間帯、テニスコート、取り寄せ、費用、不在、市営、登録料、使用料、アポイント 【動詞】 記載する、通知する、申し込みする 【その他】 早速、随時
学習項目 ・Vてください。 ・ご+ます形+ください。 ・～ていただけますか。 ・～たいんですが...	

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (田中)	手続きの種類を確認	<文型> ・Vてください。 ・お+Vます形+ください／ご+漢語+くださ

		<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お+Vます形+ですか。 ・～たいんですが・・・、(どうすればいいですか)。 ・～場合は、どうしたらいいですか。 <p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文型導入と練習 ・いろいろな手続きの確認(入国の手続き、アルバイトの登録など)
<p>【2限】 90分 (高橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの手続きをする。 ・カラオケに行く。 	<p><文型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Vたいんですが、Vてくれませんか? ・可能形 ・S場合(は)、Vできます/できません。 ・Sので、Vてください。 ・Nのご希望はございますか?/Nをお願いします。 <p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文型導入と練習 ・モデル会話の提示 ・ディクテーション
<p>【3限】 90分 (梁)</p>	<p>旅行に関する手続きをする。</p>	<p><文型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・～たいんですが、～てくれませんか。 ・～の意味が分からないので、もう一回お願いします/(教え)てくれませんか。 <p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,2限の文型復習 ・文型導入と練習 ・タスク:旅行カウンターに行き、旅行プランを立てる。 <p>ー旅行カウンターでの会話練習</p>

反省

初日の担当授業であり大変緊張したが、TAの方のサポートもあり、時間調整をスムーズに行うことができて良かった。また、5日目のこの日は、本コースの初週最終日でもあったが、学習者の積極的な発言も増え、教師側である我々も気持ちよく一日を終えることができた(他の学習者に比べ、やや心配があったTさんも、初日に比べ格段に発言数が増えていた)。しかし、反省と課題も残った。文型練習の難しさである。なるべく多くのことを教えたいという意識から、類義表現もどんどん導入したが

(教師側からだけでなく、「こういった表現は使えるか」といった学習者からの質問もあり、せっかくだからと欲張って教案にはなかった表現も導入してしまった)、かえって混乱を招く結果となった。これが影響して、自分たちの中で文型練習への苦手意識が生まれ、担当授業 2 日目 (22 (水)) では文型導入・練習とも、TA の田中さんに任せてしまった。

6日目 2月20日(月)	担当 : 飯田か、久野、入江(TA)
学習目標 ・病院で自分の症状を説明して、 医者の指示を理解することができる。	新出語彙 【名詞】 頭、目、鼻、耳、口、歯、のど、首、肩、胸、腕、 肘、手、手首、指、背中、腰、お尻、足、膝、 足首、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、耳鳴り、 めまい、内科、外科、歯科、耳鼻科、眼科、 皮膚科、整形外科、診察室、待合室、問診票、 診察券、保険証、領収証、処方箋、錠剤、 カプセル、粉薬、飲み薬、湿布、塗り薬、目薬、 食前、食後、食間、寝る前、～錠、～回 【イ・ナ形容詞】 ～が痛い、～がかゆい 【動詞】 ～がする (例：鼻づまりがする)、熱がある、 ～が出る、うつ伏せになる、仰向けになる、 口をあける、服を上げる、～を向く、～を見る、 手をあげる、息を吸う、息を吐く、動かす、 車を運転する、冷やす、温める
学習項目 ・いつから～です (か)。 ・V ないでください。 ・～んです (けど)。 ・病院の語彙	

～分	テーマ	活動
【1 限】 90 分 (入江)	体の部位/ 症状/病院 に関する語 彙	・身体の部位についての説明・学習 ・～が痛い、～が痒い ～が出ます (鼻水・せき・く しゃみなど) などの症状を伝える言い方の説明・学習
	どんな症状 の時にどん な病院に行 くか	・内科、外科など病院の名称についての説明・学習
	病院の受付 での会話	・病院に行く→保険証→受付→問診票の記入など、病院 にはじめて行った時に受ける流れについて説明・学習
	問診票	・問診票に書かれている意味について説明・学習 (アレ

		ルギーはありますか、お酒を飲みますか、手術を受けたことはありますか、など)
	診察で症状を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・待合室は何をしたらいいか、診察室は何をしたらいいかの確認 ・症状と、それがいつからかを伝える文型の導入 「いつから～ですか」 / 「〇〇日前から～なんです」 「～て、～なんです (例：熱があつて、くしゃみが出るんです)」
【2限】 45分 (入江)	原因を伝える	「何か変わったものを食べましたか」 / 「〇〇を食べました」
	診察中の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・医者からの指示・質問の文型導入 「～てください (例：口をあけてください)」
	帰宅後の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅後に気を付けることの文型導入 「～してください (ゆっくり休んでください)」 「～しないでください (お風呂に入らないでください)」
	診察を受ける練習①	<ul style="list-style-type: none"> ・【反復練習】 ⇒①医者の質問に答える (「どうしましたか？」 / 「2日前から頭が痛いんです」) ②「～て、～が痛いんです」、の反復練習 (腰が痛くて、頭が痛いんです)」
45分 (飯田か)	診察を受ける練習②	<ul style="list-style-type: none"> ・【ロールプレイ】 ⇒「～から～が痛いんです / 痒いんです / 吐き気がするんです」などの症状について医者とのやりとりをする ①実習生が医者役になり、生徒が患者役で全体練習。 ②日本人とペア練習 (実習生：医者役、学習者：患者役) ※最初はプリントに書かれている語彙 (症状、理由) を使い、徐々にプリントを見ないでロールプレイができるようにする。
【3限】 15分 (入江)	2限の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・症状があらわれた理由を説明する (復習) 「何をしましたか？」 / 「重いものを持ち上げました」 ・症状の説明をする (復習) 「～て、～なんです」 ・「～しないでください」の意味確認、練習 (復習) 「お風呂に入らないでください」
60分	会計をする	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の飲み方・種類を表す語彙を説明

(久野)		・処方箋、領収書、会計等必要な語彙の意味といつそれらが必要かなどの説明
	薬を受け取る／飲み方を確認する	・薬の飲み方についての説明、理解 「こっちの錠剤は朝と夜の食後に2錠ずつ飲んでください」 ・聞き返しについての練習 「この薬は、ビタミン剤と一緒に飲んでも大丈夫ですか」
15分 (入江)	全体通しての練習	・【ロールプレイ】⇒教師が医者／薬局の人役をやり、学習者が患者役で、病院に行って薬をもらって帰る一連の流れをロールプレイで再現する。

反省

1、2限は出ても3限は無理、2限は出ずに1、3限は参加、というように一コマ休んでから出る学生、もしくは3限は出ないという学生が1人増えてしまった。日本語を子供に教えているような日本語で話さずに、しかし丁寧にわかりやすく説明するというのは難しいと感じた。(飯田) 今日はかなりたくさんの語彙を提示したが、学習者の中には問題なく理解できている人もいた。ものたりないかもしれないと思い、最後のロールプレイでは少しアレンジして授業中にやらなかった語彙をいれたり文を長くしたりしてみたが、すらすら会話していた。全体的に文型は定着しているものが多いように感じたが、語彙はまだ知らないものも多く、かといってあまりたくさん知らない語彙を導入すると学習者が混乱するので、難しく感じた。語彙を絵で示すと説明もしやすく、わかりやすい。しかし難しい語彙を英語でふいに確認されることもあるので、英語訳はしっかり覚えておかなければいけないと感じた。(久野)

7日目 2月21日(火)	担当：梶原、飯田り、國澤(TA)
学習目標 ・不満を述べたり謝ったりすることができる。	新出語彙 【名詞】 研究室、オムライス、サラダ、ピザ、おつり、温度、インターホン、〇〇号室、者(もの)、約束、事故、けが、目覚し時計、締切り、予約、迷惑 【イ・ナ形容詞】 新しい、大事だ 【動詞】 忘れる、汚す、壊す、割る、借りる、返す、困る、持って来る、持って帰る、気をつける、頼む、足りない、上げる、下げる、(迷惑を)かける、謝る、遅れる、注文する 【その他】
学習項目 ・～んですけど。／～んじゃないんですけど。 ・Vてしまいました。／Vちゃった。 ・すみませんが、～。 ・Vてもらえませんか。／Vていただけませんか。	

実は、しかたがない、お楽しみのところ、申し訳ない

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (國澤)	謝る	<ul style="list-style-type: none"> ・導入：どんな時に謝るかクラス全体で話す。 ・ロールプレイ：遅刻して先生に謝る。 ・遅刻して先生に謝る時の談話を全員で確認。 ・「～んです」の練習。 ・ロールプレイ：約束の時間に遅れて来た学生と先生の会話。 ・友達同士の話し方導入+練習。 ・ロールプレイ：期日にレポートを出せない時の学生と先生の会話。
【2限】 45分 (梶原)	謝る	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vてしまいました」導入+フォーム確認 ・「実は～んです」導入 ・モデル会話導入+練習 ・「Vちゃった」導入+フォーム確認 ・友達同士の場面（友達の携帯を壊してしまって謝るなど）のモデル会話を練習
45分 (國澤)	苦情を言う	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店で苦情を言う時に使う表現を導入 —すみません、～なんですけど／～じゃないんですけど。 ・ペアワーク：クレームを言う客と店員 ・飲食店での苦情に関する様々な談話導入 ・ロールプレイ：お店で苦情を言う。
【3限】 45分 (國澤)	苦情を言う	<ul style="list-style-type: none"> ・談話導入：（相手の気分を害さないように気を付けながら）お店で苦情を言う、迷惑な行為をしている他人に苦情を言う。 ・「Vていただけませんか」、「Vてもらえませんか」導入。 ・ロールプレイ：導入した談話と類似する場面。
45分 (飯田り)	苦情を言う、 謝る	<ul style="list-style-type: none"> ・3限目前半の復習：レストランで苦情を言う、電車の中で苦情を言う。 ・談話導入：隣人の騒音に対して苦情を言う。苦情を言われて謝る。 ・導入したモデル会話をペアで練習。 ・ロールプレイ：隣人の騒音について大家さんに相談する。

反省	
<p>導入した文型の中でも、「V てしまう」と「V ちゃった」に関しては、最後までちゃんと覚えていない学習者が居た。もっと「V てしまう」と「V ちゃった」の練習を増やした方が良かったかもしれない。授業では、学習者の得意・不得意に合わせて、練習量を増やしたり減らしたりする必要がある。教師は、その場で臨機応変に対応しなければいけないということを再認識した。</p> <p>また、学習者が分からない語彙が出てきた時に、どのように説明するかという課題も残った。とっさに語彙の説明をするのは簡単なことではないが、できるだけ学習者にとって分かりやすい説明を心掛けたい。</p>	

8日目 2月22日(水)	担当：梁、高橋、田中(TA)
学習目標 ・何かを依頼したりお礼を述べたりすることができる。	新出語彙 【名詞】 研究計画、論文、アウトライン、発表、レジメ、レポート、送別会、パーティー、乾杯のあいさつ、奨学金、推薦状、在学証明書、外国人登録書、両面写し、指導教員、締め切り、応募エントリーシート、申込み、e-mail、件名、ノック、シャワー、蛍光灯、市役所、ガス会社、自転車 【動詞】 依頼する、お願いする、頼む、報告する、直す、お礼を言う、発表する、応募する、引っ越す、引越しする、壊れる、(大学院に)進む、(国で)働く、(シャワーが)出る、(蛍光灯が)切れる、取り換える、チェックする 【その他】 Nのためのお願い(句)
学習項目 ・～てくださいますか。 ・～ていただけませんか。 ・～ていただけないでしょうか。 ・～てくださり、ありがとうございました。 ・～ていただき、ありがとうございました。 ・～ことになりました。 ・～たいんですが、～くれませんか。	

～分	テーマ	活動
【1限】 30分 (田中)	奨学金申し込み時に必要な推薦状をもらう	<文型> ・～てくださいますか。 ・～ていただけませんか。 ・～ていただけないでしょうか。 <授業内容> ・文型導入と練習

60分 (梁)	Eメールで先生に印鑑・サイン・推薦状の依頼を書く	<p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク：Eメールを書く －悪例の提示と修正 －発表
【2限】 90分 (高橋)	先生の研究室へ行き、サインと印鑑をもらう	<p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク：研究室訪問 －モデル会話の導入 －ディクテーション －練習
【3限】 90分 (田中)	お礼を述べる／奨学金が通った報告をする	<p><文型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・～てくださり、ありがとうございました。 ・～ていただき、ありがとうございました。 ・～ことになりました。 ・～たいんですが、～てくれませんか。 <p><授業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文型導入と練習 (・先輩や友達に対する依頼表現)

反省

一日の流れを考えて、特別に「書く」ことを学習項目に取り入れた(1限)。具体的には、奨学金に関する書類へのサイン・捺印を指導教員に依頼するEメールを書く、という作業である。しかしながら、Eメールを書くためにはEメールに特有な表現や敬語の知識が前提となるが、これらを体系的には理解できていない本実習の学習者にとっては、この学習項目は難しすぎたため、授業の進行にやや乱れも生じてしまった。こうした事態を事前に想定し、授業内容を考える必要があったように思う。また、「奨学金」をテーマとして扱ったことで、目上の人(指導教員)だけを会話の相手に想定する授業構成となってしまったが(2限)、インフォーマルな場面での感謝・依頼表現も、授業に組み込むことができれば、なお良かったと思われる(この点については、我々側では組み込むことができなかったが、TAの田中さんが少ない残り時間の中で〈親しい先輩や友人への依頼〉を授業に盛り込んで下さった)。また、5日目(17日)でも報告した通り、苦手意識から、文型導入をすべてTAの田中さんに任せてしまったという点も、大きな反省点である。

9日目 2月23日(水)	担当 : 飯田り、梶原、國澤(TA)
学習目標 ・許可を求めることができる。	新出語彙 【名詞】
学習項目 ・Vでもいい(よろしい)ですか。 ・Vなければならないんです。 ・なきやいけなくて…。 ・Vさせてもらえ(いただけ)ませんか。 ・～なら、いいですよ。	両親、空港、締切、飲み会、書類、カーテン、アルバム、順番、化粧 【イ・ナ形容詞】 具合が悪い、大事だ、夜遅い、恥ずかしい 【動詞】 案内する、早退する、迎えに行く、送る、(授業に)遅れる、お願いする、(荷物を)置く、(アパートを)出る

～分	テーマ	活動
【1限】 45分 (飯田り)	許可の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vでもいいですか」の文型導入と練習 ⇒①【場面：エアコンを消す、窓をしめる、写真を撮る…】 ②【場面：友達の家遊びに行ってもよいか聞く】 ・インフォメーション・ギャップを使ったペア・ワーク ⇒③【場面：お互いの家に行き、様々な許可を求める】 ・「Vでもよろしいですか」の導入と口頭練習 ⇒【場面：授業中、具合が悪くなり先生に早退の許可を求める】
45分 (梶原)	理由の述べ方	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vなければならないんです」の文型導入と練習 ⇒活動①【場面：先生に欠席・遅刻の理由を話す・締切を伸ばしてもらう】 ・「Vなきやいけなくて…」の文型導入とフォームの確認 ⇒活動②【場面：友達との約束のキャンセル理由を話し、代案を提示する】
【2限】 90分 (國澤)	許可を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・「Vさせてもらえ(いただけ)ませんか」の文型導入と練習 ・談話の確認 ・ペア・ワーク(条件つきで)許可する・交渉する ⇒活動①【場面：パソコンを借りる…】 (相手の負担が高い内容) ・教室全体での活動(ロールプレイ：相手を説得し、相手から許可が下りたらサインをもらう) ⇒活動②【場面：相手の家に荷物を置かせてもらう、…】
【3限】 90分	特別活動	私の家族

反 省

実習生が担当した1時間目の前半と後半の活動内容にギャップがあり、その日全体のお互いの担当部分を意識することが大切だと感じた。これは、1日の最終目標を達成するためにそれぞれの時間にどういう活動をするのかという視点が欠けていたことから生じたギャップである。教案作成時から、1日の構成を意識するべきであった。どの場面を取り上げるのかを吟味し、フォーム練習の動詞の選択も、網羅的に、少し多めに準備しておくことが必要だと実感した。学習者の様子を見ながら必要かと思われる情報を随時入れたり導入の順番を入れ替えたりして、場面に応じフレキシブルに対応できたように思う。実習3日目だったので、時間調整も比較的うまくいった1日であった。

10日目 2月24日(金)	担当：飯田か、久野、入江(TA)
学習目標 ・二つ以上のものを比較することができる。	新出語彙 【名詞】 監督、出演者、日当たり、バルコニー、洋室、クローゼット、キッチン、ユニットバス、家具、徒歩～分、オートロック、洗濯機、～帖、降水量、最高気温、最低気温、気温、図、割合、学歴、短大、高専、短大、大学、大学院卒、卒業、～歳、学歴、年齢別、再就職先、理由、技術、経験、資格、不足、有給休暇、調査、会社員、公務員、～歳以下、～歳以上、全体、年代別、代、入浴、家庭での食事、外食、コンビニ、ファーストフード、ファミリーレストラン、買い物、テーマパーク、遊園地、動物園、散歩、ホームページ作成、ネット検索、ドライブ、バッテリー、画面、メモリ 【イ・ナ形容詞】 厳しい、大きい、小さい、きれいな、新しい、古い、静かな、賑やかな、良い、悪い、有名な、高い、安い、低い、便利な、不便な、おもしろい、つまらない、楽しい、近い、遠い、速い、遅い、暖かい、涼しい、危険な、広い、狭い、安全な、暑い、寒い、ちょうどいい、うるさい、薄い、使いやすい 【動詞】 (写真を)撮る・ズームする、探す
学習項目 ・「AはBより～です。」 ・「AとBとどちらが～ですか。」 / 「A/Bの方が～です。」 ・「AはBほど～ない。」 ・「～ないです。」 ・「AとBとCの中でどれがいちばん～ですか。」	

～分	テーマ	活 動
【1限】	比較	・「AはBより～です」の文型確認

60分 (久野)		<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞のドリル練習 ・「AとBとどちらが～ですか」「A/Bの方が～です」の文型確認
30分 (飯田か)		<ul style="list-style-type: none"> ・「A/Bの方が～です」を絵カードを使ってドリル練習 ・「AはBほど～ない」の文型確認 ・「～ないです」を絵カードを使ってドリル練習
【2限】 45分 (飯田か)	比較のタスク	<ul style="list-style-type: none"> ・タスク<グラフの情報を比較する> 折れ線グラフを用いて、グラフの情報を比較する。
45分 (入江)	比較のタスク 3つ以上の物を比べるとき の文型導入	<ul style="list-style-type: none"> ・タスク<映画を比較する> ・タスク<アパートを比較する> ・「AとBとCの中でどれがいちばん～ですか」の文型導入 ・「～そうです」「～と思います」の文型導入
	比較のタスク 3つ以上の物を比べるとき のタスク	<ul style="list-style-type: none"> ・タスク<パソコン・カメラを比較する> ・タスク<どこの国にいきたいですか> ・全体の復習
【3限】 90分 (久野・飯田か)	特別活動	私のお気に入り

反省

クラスの雰囲気良くなって、留学生の方たちがお互いよくコミュニケーションをとるようになった。一緒にお昼を食べに行っていたのだと言っていた。タチヤにいっしょに行こうと学習者AがTを誘っていた。(飯田)ドリルをもっとテンポよくやるべきだった。難しい言葉をたくさん使ってしまい、ティーチャートークをもっと考えて事前に準備するべきだと反省した。形容詞は簡単なものから難しいものへ段階的に提示した方がよかった。また、「そう」をもう少し時間をかけて復習したほうがよかった。教案を頻繁に見てしまったので、次はもっと事前に覚えるよう心掛けたい。(久野)

11日目 2月27日(月)	担当：飯田か、久野
学習目標 ・10年後の私について発表できる。 ・インタビューすることができる。	新出語彙 【名詞】 インタビュー、インド料理、～年後、までに、 ヒンズー語、合格、結婚、試験、 【動詞】 (家族を)作る、(友だちに)なる 【その他】 なぜなら、その理由は、だから、それから、 そのために
学習項目 ・～までに ・～たいです ・なぜなら～からです	

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (飯田か)	特別活動	・10年後の自分
【2限】 90分 (久野)	一人語りの自己紹介	<インタビューをして「日本と外国の同じところ・違うところ」を知る> ・インタビューの仕方を確認・練習する ・インタビューに行く
【3限】 30分 (久野)	文型導入 発表準備	<「日本と外国の同じところ・違うところ」を発表する> ・「～そうです(伝聞)」の文型を復習する ・比較表現の復習をする ・タスクシートを使って発表内容をまとめる
60分 (飯田)	発表	・インタビュー結果を発表する

反省
<p>「(だ) そうです」をもう少し時間をかけて説明した方が良かったかもしれないと思った。また、発表の時間が少し余ったので、感想シートのメッセージ欄を書く時間をもう少し長くとっても良かった。モデル会話をもっとリピートさせて、発話量を増やすべきだった。時間配分はほぼうまくいったと思う。インタビューは春休みで人が少なかったため、協力してくれる日本人を探すのが少し大変だった。インタビューのために生協に入ったら注意されてしまったので、今後もしインタビュー活動をするときは、生協には入らないように注意した方がいい。学習者はみんな積極的に日本人にインタビューしていた。(久野) クラスを始める前に、「おはようございます」でいき</p>

なりクラスをはじめるのではなくて、一人ひとりもしくは全体に向けて「元気ですか？」などの問いかけのようなものがあつたほうが良かったのではないかと思う。個人的には、実習の回数が増えるにつれ、反省点がよく見えるようになって、3限目の終わりに頭を抱えた。(飯田)

12日目 2月28日(火)	担当：筒井、川口
学習目標 ・電話でのやり取りができる。	新出語彙 【名詞】 電話番号、携帯電話、公衆電話、国際電話、留守番電話、間違い電話、市外局番、伝言、空室、一泊、チェックイン、カット、パーマ、カラー、110番、119番 【動詞】 (電話を)かける、かけ直す、(電話に)出る、(電話を)切る 【その他】 もしもし、はい～です、～はいらっしゃいますか、話し中
学習項目 ・電話でのやり取りの際に用いる語彙 ・電話でのやり取りにおける開始部・終結部の会話の仕方	

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (川口)	特別活動	「好きな日本語・嫌いな日本語」について発表する。
【2限】 55分 (筒井)		
35分 (川口)	電話でのやり取り	<ul style="list-style-type: none"> ◆電話でのやり取りで用いられる会話の確認 ・「電話をかけます」「電話に出ます」「電話を切ります」といった動詞の導入。 ・どのようなときに電話をかけるか確認。 ・電話での予約の際、どのような会話が行われるか確認。 ・留守番電話・間違い電話・電話での伝言の依頼の会話の確認。
【3限】 60分 (筒井)	緊急時の電話対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆語彙の確認 ・緊急時に用いる番号(110番、119番)を確認する。 ◆緊急時の電話対応の確認 ・事故等の緊急時の場面における会話をいくつか載せたプリントを用いて、緊急時の電話でのやり取りの仕方を確認

30分 (筒井)	ロールプレイ	<p>する。</p> <p>◆Skype を用いたロールプレイ</p> <p>・学習者を2グループに分け、各グループ文系総合館 609・623 の部屋に分かれて、それぞれの部屋に置かれたパソコンを用いて Skype による電話でのやり取りを行う。かけ手と受け手の両方をすべての学習者が担えるようにする。</p>
-------------	--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

反省

本来1時限目のみで行う予定であった発表が（タスクシートが少々難しかったためか）2時限目の後半までかかってしまったり、今回の授業の目標である「電話でのやり取り」を実際に行う3時限目の Skype を用いたロールプレイに多くの時間が割けなかったりなど、主に時間配分において事前の考えが足りていなかった。特に Skype を用いたロールプレイについては、振り返りの時間があまり取れなかったことが悔やまれる。

このような失敗を避けるためにも、タスクシートやプリントは、難しいものと簡単なものの二種類用意しておくなど、臨機応変に対応するための準備を事前に行っておくと良かった。

13日目 2月29日(金)	担当：梁、高橋
到達目標 ・ビデオレターを用いてお礼を述べるができる。	新出語彙 【名詞】 色紙、ビデオレター、区画、目印、思い出、実習生、教壇 【イ・ナ形容詞】 心強い、細かい 【動詞】 補足説明する、録画する、励ます
学習項目 ・日本の色紙及びビデオレターの文化	

～分	テーマ	活動
【1限】 20分		事後アンケートの記入
70分 (高橋)	特別活動	「日本に来て驚いたこと」について発表する。
【2限】 30分 (高橋)		

60分 (梁)	色紙とビデオレターの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを伝えるには日本ではどんな方法がありますか。→色紙とビデオレターの導入 ・ビデオレターの展示 ・タスク1の紹介： 春季日本語コースの先生達にビデオレターを作りましょう ・モデルの展示 姿勢と内容の確認 感謝の表現の復習 ・タスクを再び説明し、原稿を作成する
【3限】 90分 (梁・高橋)	色紙とビデオレターの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオの撮影と色紙の作成

反省

2限後半において、実際に梁、高橋が撮影したビデオレターをモデルとして提示したが、この際ビデオレターの原稿が書かれたプリントを配布したにも関わらず、授業ではこれについて特に触れることはしなかった（表現、単語の確認などをしなかった）。単語確認の時間を設けていれば、活動系タスクが中心となる授業でも、学習を意識することが可能だったと思われる。また、学習者のビデオレター原稿の作成では、学習者が主体となって行う作業になることを想定して、特に書き方指導などは行わず、ワークシートの用意もしなかった。しかし、実際、授業を行ってみると、開始の指示を出しても、学習者がなかなか動いてくれないという事態が生じた。ワークシートがあれば、学習者が活動に着手しやすくなったかもしれない。事前準備が必要だった。

4.3 特別活動

以下、2/23（月）から3/1（水）、合計6日間の特別活動の授業報告である。

1日目 2月23日(水)	担当：飯田り、梶原
学習目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表体験を振り返る。 ・どのような発表がいい発表かを考える。 ・相互評価の観点を決める。 ・発表を聞いて、内容について質問することができる。 	新出語彙 <ul style="list-style-type: none"> 【名詞】 冗談、笑顔、発表 【動詞】 気をつける、

学習項目 ・Vたほうがいいです/Vないほうがいいです ・すみません、ちょっといいですか。/質問してもいいですか。 ・～について、詳しく知りたいんですけど。 ・～について、詳しく教えてくださいませんか。	緊張する 【その他】 詳しく
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------

～分	テーマ	活動
30分 (梶原)	よい発表とは何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・導入 ・ペアで、ワークシートの質問項目を話す。 ⇒自分の発表体験について振り返る。 ⇒よい発表について、考え、話し合う。
15分 (飯田)	質問の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・表現導入 ・確認
10分 (飯田・梶原)	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにメモをする。 ・「家族」というテーマの発表内容について考える。
35分	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に発表し、質疑応答する。

反省
<p>大きな反省点として、次の2点があげられる。(1)翌日の担当者につなげる配慮の欠如(2)「発表の始め方・終わり方」という視点の欠如である。特に(1)に関しては、特別活動全体を通じての反省点としても挙げられるかもしれない。使用語彙等の連絡もできなかった。特に、初日は相互評価の観点を定める日でもあったため、もう少し配慮が持てる良かったと思う。また、(2)に関しては、参加学習者はもう通常の授業で発表経験があったため、こちらから言わなくても自然にできていたが、未経験の学習者だったら、混乱を招いていたと思われる。</p> <p>教案作成段階では、教師によるモデル発表も準備していたが、時間が足りず学習者の発表を優先し、今回は行わなかった。時間配分に教案の作成時に無理があったことも反省点である。</p> <p>発表のテーマは「家族」という学習者にとっても身近なものだったため、活発な質疑応答が行われた。授業後にも学習者同士で、話しが続いており、雰囲気はとてもよかった。発表の質疑応答中、教師の介入はほとんど行わず、理解できなかった発表内容に関しても学習者同士で質問し、助け合って解決していた。今回はうまくいったが、教師がどの程度介入し、日本語の間違いを訂正するか、など事前に打ち合わせて、授業に臨めるとよかったと思う。</p>

2日目 2月24日(金)	担当 : 飯田か・久野
到達目標 ・私のお気に入りについて発表できる。	新出語彙 これまでの語彙(特になし) 【その他】 学習者の必要に合わせて随時指導
学習項目 ・から、ので	

～分	テーマ	活動
【3限】 30分 (飯田か)	文型導入	・文型導入とフォームの確認 ・理由を表す「から」と「ので」の導入
30分 (久野)	発表準備	・タスクシートを使って自分のお気に入りの様々なものについて考える ・ペアになって自分の好きなもの、ことについて話す
60分 (飯田か・久野)	発表	・発表・質疑応答 ・自分の好きなもの、ことについて発表する

反省
<p>全員とても発表をすることが好き(自分のことについて話すのが好き)なようで、とても元気に発表していた。(飯田) 書くという活動はやはり時間がかかり、好きなものをタスクシートに書いてもらったのに、学習者同士で共有しきれなかった。評価シートも難しすぎて書く時間が足りなくなった。誰かが語彙でわからないものがあると他の学習者が教えてあげたり、発表中に誰かが言葉に詰まると、だれかが文型を教えてあげたりしていて、非常に良い関係が出来上がっていると感じた。(久野)</p>

3日目 2月27日(月)	担当 : 飯田か・久野
学習目標 ・10年後の自分	新出語彙 【名詞】 インタビュー、インド料理、～年後、までに、ヒンズー語、合格、結婚、試験、 【動詞】 (家族を)作る、(友だちに)なる 【その他】
学習項目 ・なぜなら～だからです。	

	なぜなら、その理由は、だから、それから、そのために
--	---------------------------

～分	テーマ	活動
【1限】 20分 (飯田 か)	文型導入	文型導入 ・なぜなら、～だからです。 ・今、3年後5年後、10年後について話せるようになるための導入 ・導入—今私は～です。10年後までに、私は～になりたいです。
30分 (飯田 か)	発表準備	タスクシート記入 ・文型導入でのデモンストレーション+リピート練習を参考に、タスクシートに記入する。
40分 (飯田 か)	発表	発表・質疑応答 ・タスクシートをもとに、発表を行う。 ・他の発表者の発表について質問する。

反省
10年後の自分というテーマは、学習者の立場に立つと、ある具体的な計画（今と異なる）などがない学習者には（特に今と変わらない学習者）、ちょっと難しかったようだった。（飯田）

4日目 2月28日(火)	担当：筒井、川口
学習目標 ・「好きな日本語・嫌いな日本語」について発表することができる。	新出語彙 【その他】 まず、次に、最後に、初めて、そろそろ
学習項目 ・他の人にインタビューして得た情報を発表する際に用いる表現	

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (川口)	発表準備	◆導入 ・日本語で好きな言葉・嫌いな言葉、母語で好きな言葉を、数の制限なく挙げる。 ・その理由を答える。（前日の復習も兼ねて、「私は～が好きです。なぜなら、～からです。」という形を用いる。） ◆タスクシート記入 ・教師によるタスクシートのモデル提示を行う。 ・タスクシートに「好きな日本語・嫌いな日本語」「好きな

		母国語」について記入する。 ◆ペアワーク ・インタビュー形式で、ペアの相手の「好きな日本語・嫌いな日本語」「好きな母国語」を聞く。
【2限】 55分 (筒井)	発表	◆ペアでの発表 ・ペアの相手の好きな日本語・嫌いな日本語・好きな母国語について発表。 ・発表の振り返り。

反 省

通常クラス 12 日目の報告にも記載した通り、本来は 1 時限目のみで特別活動を終わらせるつもりが、2 時限目の半分以上の時間までかかってしまった。この原因として、タスクシートの内容が少々難しく、また量も多かったこと、そして、インタビュー活動に時間をかけすぎてしまったことが挙げられる。タスクシートの記入、ペアへのインタビュー、そして発表と、学習者にとっては負担が大きい活動が三つ続く構成になってしまったので、負担の少ない構成も考えておけるとよかった。

一方で、テーマ自体は学習者にとっても興味を持つことができるものだったが、休み時間中の会話などから窺えた。発表のテーマによって学習者同士の会話を促すことができるという新たな収穫があった点のみ考えれば、この発表は成功と言えるだろう。

5日目 2月29日(水)	担当：高橋、梁
学習目標 ・「日本に来て驚いたこと」について発表する。	新出語彙 【名詞】 区画、建物、目印
学習項目 ・発表における諸定形表現 ・私が日本に来て驚いたことは S/N です。	【その他】 一方

～分	テーマ	活 動
【1限】 30分		事後アンケートの記入
20分 (高橋)	日本語での発表を学習する。	<授業内容> ・モデル発表の導入 ・発表の流れの確認
40分	・発表原稿を作成する。	<授業内容>

【2限】 30分 (高橋)	・日本語で「日本に来て驚いたこと」について発表する。	・タスク：発表原稿の作成 ・発表と質疑応答
---------------------	----------------------------	--------------------------

反省
<p>他チームとの連携が取れていなかった。とくにこの日は、特別活動を開始してすでに5日経っていたわけであり、今さらモデル発表を導入してまで、発表の流れを確認する必要はなかったように思われる。とくに、我々のチームで用意したモデル発表は、発表に関する定形表現や文章構成など、形式面に重点を置いたものであり、他チームが説明したものとは若干の異なりがあったかもしれない（事実、特別活動の振り返りでは、「良い発表とは何か」という点で、実習生同士でも色々と意見が割れた）。結果として、学習者の混乱を招いた可能性も大いに考えられる。しかしながら、学習者の側では、ほとんど皆原稿を見ずに発表できていたり、自由記述を多めに設定したワークシート（原稿シート）であったにも関わらず規定時間内に原稿作成ができていたり、5日間の成果も見られた。5日目ということで、緊張もほぐれていたのかもしれない。</p>

6日目 3月1日(木)	担当：筒井、川口
学習目標 ・地震についての知識を深める。	新出語彙 【名詞】 リュックサック、乾電池、通帳、雨具、救急箱、軍手、ヘルメット、非難食品、津波、懐中電灯、ろうそく 【動詞】 揺れる、倒れる、くっつける、非難する、割れる、落ちる、しゃがむ、隠れる
学習項目 ・地震を経験したことについての有無 ・地震が起きたらどうなるか。どうすればよいか。 ・インタビューをし、まとめて発表する。	

～分	テーマ	活動
【1限】 90分 (川口)	地震について知識を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年3月11日の地震について、学習者・実習生に聞く ・地震を経験したことがあるかどうか、学習者の国には地震があるかどうか聞く ・地震が起きたらどうなるか・どうすればよいか（ペア+実習生一人で話し合い、発表する） ・3月11日の地震の映像を見る ・改めて、地震が起きたらどうすればよいか、紙に書いて考える ・インタビュー用紙の配布、説明

		・インタビューでの自由質問を考える
【2限】 90分 (筒井)	地震についてインタビューする	・インタビュー説明 ・インタビュー（実習生・先生に学習者がインタビューする） ・発表準備（ペアで双方のインタビュー結果をまとめる） ・発表
【3限】 90分	（ティーパーティー）	（ティーパーティー）

反 省

今回はペアで発表した点、発表のモデルを与えなかった点がこれまでの発表と大きく異なったが、学習者はそれぞれ工夫して発表していた。質問も予想以上に多く出た。しかし、特殊な語彙（揺れる、くつつける、避難するなど）が多く、説明に時間がかかったため、発表の準備と発表にあてる時間が少なくなった。もっと時間配分を詳細にしておきどの活動に時間がかかるのか調整しておくべきだった。フィードバックをしたが、時間が押していたので非難用具などの語彙確認になってしまった。もう少し丁寧にできればよかった。

4.4 特別活動の反省と改訂

今回の実習における特別活動は、事前に十分な話し合いの時間が取れなかったこともあり、各チーム、様々な反省点が残った。しかし、今回の特別活動における一番の反省点は、「6日間でひとまとまりの活動」という意識が薄かったところにある。残念なことに、今回は各日の活動のつながりをあまり意識せずに、6日間発表活動を行ってしまった。その結果、6日間一貫して発表活動を行ったものの、一日一日が独立しており、6日間の成果というものは見出しづらかった。

今回の特別活動の反省を踏まえ、実習生で再度話し合い、特別活動の授業デザインを作り直した。新しい授業デザインにおいては、6日間で一連の流れだということを意識して目標を設定し、他の授業とのつながりを考慮しながら授業内容を決定した。以下に、作り直した授業デザインを掲載する。

日時	① 2/23(木)3限	② 2/24(金)3限	③ 2/27(月)1限
目標	発表に必要な形式、表現を学習し、良い発表とは何か考える。		良い質疑応答とは何かを考え、実践することができる。
内容	(1)導入 ・「発表とはどういうものか？」 (ごく簡単に行う) (2)ペアワーク ・日本に来てびっくりしたことについて話し合う ・ワークシートⅠを使用(形式には触れない) (3)発表+質疑応答 ・一人ずつ行う ・録画する(②(3)で使用する) ・テーマ:「日本に来てびっくりしたこと」 ・学習者から「質問はありませんか」という言葉が出なかった場合は教師から問いかける。 (4)ワークシートⅡの記入(②(1)で使用する) 「何に注意して発表したか」 一声の抑揚、姿勢 発表に特有の日本語の表現 など	(1)振り返り 「発表で皆が意識した部分はどういう部分か」 ・①(2)を板書するorプリントにまとめて配布する (2)ビデオ鑑賞 ・①(1)を使用する (3)話し合い ・学習者側から良い点・悪い点を引き出す。 ・学習者から引き出せなかったものは、教師が提示する。 ・「良い発表とは何か」について、学習者&教師間で意識を共有する。 ※重要視したい点 (i)日本語による発表という観点から見た「良い発表」 一発表の始め方・終わり方 一質疑応答に入る前の表現 など (ii)個別言語に限定されない「良い発表」 一声の抑揚・大きさ、姿勢 など 一なるべく原稿を見ない など ・話し合われた内容をプリントにまとめる(③に配布する) ※発表・原稿作成に活用する→③以降での発表活動において、スクリプト等は用意しない。	(1)振り返り ・プリント(②(3-ii))をもとに行う (2)発表準備 ・テーマ:私の国の観光スポット (3)数名発表・質疑応答 ※録画する
日時	① 2/28(火)1限	② 2/29(水)1限	③ 3/1(木)1・2限
目標	良い質疑応答とは何かを考え、実践することができる。	人から聞いたことをまとめて発表できる。	人から聞いたことをまとめ、形式に沿って自分の意見を含め発表できる。
内容	(1)VTR(27日に発表した人のもの)を見て、23日の発表よりも27日の発表の方が良くなっていることを確認し、良い質疑応答とは何かを話し合う。 (2)学習者(27日に発表しなかった人)の発表・質疑応答 ※録画する (3)VTR(28日に発表した人のもの)をみて、質疑応答のふりかえり (4)教室以外の場面で発表で使われる表現の確認 一学会発表 など	(1)導入:インタビューとは? ※授業ですでに習ったことを思い出させる。 テーマ:私のお気に入り (2)インタビュー実施 (3)インタビュー結果をまとめる・発表準備 (4)発表・質疑応答	1時間目 (1)導入・重要語彙の確認 ・テーマ:地震 (2)ペアワーク 一地震が起きたらどうしますか? など (3)発表①:ペアごとにまとめて述べる (4)ビデオを見る+感想 (5)本日の活動について説明 (6)自由質問を考える (7)インタビュー実施 2時間目 (8)発表準備 (9)発表②・質疑応答 (10)6日間を振り返る 一発表に対する自分の意識が変わったか など

《全体目標》

良い発表とは何かを考え、日本語で発表・質疑応答ができる。

<1日目・2日目の目標>…2/23(木)3限、2/24(金)3限
 発表に必要な形式、表現を学習し、良い発表とは何か考える。

<3日目・4日目の目標>…2/27(月)1限、2/28(火)1限
 良い質疑応答とは何かを考え、実践することができる。

<5日目の目標>…2/29(水)1限
 人から聞いたことをまとめて発表できる。

<6日目の目標>…3/1(木)1・2限
 人から聞いたことをまとめ、形式に沿って自分の意見を含め発表できる。

(文責:飯田り)